

# 令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 長野県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	長野県立病院機構	2
長野市	長野市民病院	3
松本市	松本市立病院	4
上田市	上田市立産婦人科病院	5
岡谷市	岡谷市民病院	6
飯田市	飯田市立病院	7
大町市	大町総合病院	8
佐久市	国保浅間総合病院	9
東御市	東御市民病院	10
佐久穂町	佐久穂町立千曲病院	11
軽井沢町	国保軽井沢病院	12
辰野町	辰野病院	13
信濃町	信越病院	14
飯綱町	飯綱町立飯綱病院	15
伊那中央行政組合（事業 会計分）	伊那中央病院	16
伊南行政組合	昭和伊南総合病院	17
諏訪中央病院組合	組合立諏訪中央病院	18
依田窪医療福祉事務組合	国保依田窪病院	19

<b>病院事業決算状況(令和4年度)</b>		都道府県名	
		長野県	
市町村・組合名			
病院名		長野県立病院機構	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,048,011	
決算規模(千円)	1,156,362,770	
標準財政規模(千円)	516,202,363	
財政力指数	0.50303	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	159.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	164,173			
1 経常収益	164,173			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	164,173			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	164,173			
2 経常費用	164,173			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	164,173			
(うち支払利息)	164,173	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		長野県	
市町村・組合名	長野市		
病院名	長野市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	372,760
決算規模(千円)	165,123,960
標準財政規模(千円)	90,613,583
財政力指数	0.72
経常収支比率(%)	90.6
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	141,165			
1 経常収益	141,165			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	141,165			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	141,165			
2 経常費用	141,165			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	57.2
材料費	-	-	26.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.7	8.0
経費	-	-	22.1	19.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	141,165			
(うち支払利息)	141,165	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	103.2
医業収支比率	-		85.5	88.6
修正医業収支比率	-		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	93.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	松本市				
病院名	松本市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,999 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	193	70.8	72.4	70.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	3.0	12.3	14.9
計	199	68.8	70.6	68.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	13.7	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	241,145	
決算規模(千円)	112,001,774	
標準財政規模(千円)	59,543,455	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,707,156			
1 経常収益	5,707,156			
(1) 医業収益	4,438,111			
(うち修正医業収益)	4,333,981			
入院収益	2,248,277			
外来収益	1,729,099			
診療収入計	3,977,376			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	460,735			
(うち他会計負担金)	104,130			
(2) 医業外収益	1,269,045			
(うち国・都道府県補助金)	774,210			
(うち他会計補助・負担金)	238,367			
(うち長期前受金戻入)	178,170			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,236,842			
2 経常費用	5,235,271			
(1) 医業費用	5,049,292			
職員給与費	3,145,148	70.9	59.4	67.0
材料費	876,653	19.8	26.1	18.2
(うち薬品費)	475,781	10.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	363,615	8.2	11.8	9.4
減価償却費	290,468	6.5	8.7	10.2
経費	726,017	16.4	22.1	28.8
(うち委託料)	380,394	8.6	11.7	13.2
研究研修費	9,764			
資産減耗費	1,242			
(2) 医業外費用	185,979			
(うち支払利息)	21,702	0.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,571			
損益	471,885			
純損益	470,314			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.0		103.3	104.5
医業収支比率	87.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	85.8		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	102.5		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,817,515
1 固定資産	3,718,523
(1) 有形固定資産	3,712,073
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	6,450
2 流動資産	3,098,992
(1) 現金及び預金	2,334,870
(2) 未収金及び未収収益	749,668
(3) 貸倒引当金( )	2,070
(4) 貯蔵品	16,524
3 繰延資産	-
負債合計	4,525,239
1 固定負債	2,291,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,098,469
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,193,078
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	919,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	309,345
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	228,212
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	361,352
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,313,802
(1) 長期前受金	2,468,985
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,155,183
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,292,276
1 資本金	1,263,614
2 剰余金	1,028,662
(1) 資本剰余金	12,498
(2) 利益剰余金	1,016,164
負債・資本合計	6,817,515
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	510,616	342,497
資本勘定繰入	182,749	185,499
計	693,365	527,996

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	上田市				
病院名	上田市立産婦人科病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,033 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	27	11.8	32.5	40.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	27	11.8	32.5	40.8
平均在院日数(一般病床のみ)		4.4	5.5	5.5

設立団体の状況		
人口(人)	154,055	
決算規模(千円)	73,656,302	
標準財政規模(千円)	40,430,736	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	20.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	420,989			
1 経常収益	420,989			
(1) 医業収益	125,383			
(うち修正医業収益)	125,383			
入院収益	69,525			
外来収益	46,865			
診療収入計	116,390			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	8,993			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	295,606			
(うち国・都道府県補助金)	376			
(うち他会計補助・負担金)	258,768			
(うち長期前受金戻入)	34,453			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	462,143			
2 経常費用	462,143			
(1) 医業費用	451,932			
職員給与費	317,971	253.6	59.4	87.7
材料費	7,988	6.4	26.1	13.6
(うち薬品費)	2,400	1.9	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,870	3.1	11.8	5.9
減価償却費	47,412	37.8	8.7	12.7
経費	78,275	62.4	22.1	45.1
(うち委託料)	43,923	35.0	11.7	21.3
研究研修費	286			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,211			
(うち支払利息)	2,805	2.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-41,154			
純損失	-41,154			
累積欠損金	211,537			
経常収支比率	91.1		103.3	101.7
医業収支比率	27.7		85.5	62.5
修正医業収支比率	27.7		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	61.5		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	206.4		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	61.5		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	35.1		91.9	67.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	787,082
1 固定資産	752,680
(1) 有形固定資産	752,609
(2) 無形固定資産	71
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	34,402
(1) 現金及び預金	22,856
(2) 未収金及び未収収益	10,946
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	600
3 繰延資産	-
負債合計	746,047
1 固定負債	157,671
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	157,671
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	39,513
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,535
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	10,692
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,286
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	548,863
(1) 長期前受金	1,025,094
(2) 長期前受金収益化累計額( )	476,231
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	41,035
1 資本金	155,212
2 剰余金	-114,177
(1) 資本剰余金	66,076
(2) 利益剰余金	-180,253
負債・資本合計	787,082
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	3,479	258,768
資本勘定繰入	7,232	7,232
計	10,711	266,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	168.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	岡谷市				
病院名	岡谷市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,543 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	266	73.6	74.3	73.2
療養	25	77.7	75.8	74.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	72.8	33.4	36.6
計	295	74.0	73.8	72.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	18.3	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	47,790	
決算規模(千円)	22,072,298	
標準財政規模(千円)	12,298,936	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	86.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	44.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,272,736			
1 経常収益	7,270,066			
(1) 医業収益	6,013,297			
(うち修正医業収益)	5,875,297			
入院収益	3,586,135			
外来収益	1,838,251			
診療収入計	5,424,386			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	588,911			
(うち他会計負担金)	138,000			
(2) 医業外収益	1,256,769			
(うち国・都道府県補助金)	440,127			
(うち他会計補助・負担金)	341,580			
(うち長期前受金戻入)	367,903			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,670			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,863,975			
2 経常費用	6,863,975			
(1) 医業費用	6,553,308			
職員給与費	4,100,606	68.2	59.4	63.7
材料費	995,608	16.6	26.1	21.0
(うち薬品費)	508,661	8.5	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	432,310	7.2	11.8	10.1
減価償却費	462,036	7.7	8.7	9.7
経費	969,818	16.1	22.1	28.9
(うち委託料)	566,074	9.4	11.7	13.6
研究研修費	8,735			
資産減耗費	16,505			
(2) 医業外費用	310,667			
(うち支払利息)	34,216	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	406,091			
純損益	408,761			
累積欠損金	1,985,755			
経常収支比率	105.9		103.3	101.8
医業収支比率	91.8		85.5	80.8
修正医業収支比率	89.7		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	6.6		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	98.9		91.9	89.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,068,980
1 固定資産	9,615,286
(1) 有形固定資産	9,241,695
(2) 無形固定資産	3,360
(3) 投資その他の資産	370,231
2 流動資産	1,453,694
(1) 現金及び預金	469,888
(2) 未収金及び未収収益	958,172
(3) 貸倒引当金( )	1,000
(4) 貯蔵品	23,179
3 繰延資産	-
負債合計	11,797,699
1 固定負債	7,990,796
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,234,261
(2) その他の企業債	215,190
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,534,402
(7) 一ス債務	6,943
2 流動負債	1,466,870
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	749,093
(2) その他の企業債	40,158
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	248,111
(6) リ一ス債務	6,687
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	390,211
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,340,033
(1) 長期前受金	3,685,471
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,345,438
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-728,719
1 資本金	1,226,920
2 剰余金	-1,955,639
(1) 資本剰余金	30,116
(2) 利益剰余金	-1,985,755
負債・資本合計	11,068,980
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	728,719
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	950,208	479,580
資本勘定繰入	259,844	259,500
計	1,210,052	739,080

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	飯田市				
病院名	飯田市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	36,376 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	403	74.0	77.1	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	407	73.2	76.4	75.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.7	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	98,164	
決算規模(千円)	50,381,103	
標準財政規模(千円)	27,554,858	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	8.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,959,353			
1 経常収益	13,942,307			
(1) 医業収益	12,430,404			
(うち修正医業収益)	12,140,574			
入院収益	8,073,654			
外来収益	3,534,808			
診療収入計	11,608,462			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	821,942			
(うち他会計負担金)	289,830			
(2) 医業外収益	1,511,903			
(うち国・都道府県補助金)	807,985			
(うち他会計補助・負担金)	499,704			
(うち長期前受金戻入)	71,251			
(うち資本費繰入収益)	59,400			
(3) 特別利益	17,046			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,251,851			
2 経常費用	14,244,235			
(1) 医業費用	13,664,085			
職員給与費	7,652,426	61.6	59.4	57.2
材料費	3,060,980	24.6	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,525,240	12.3	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,457,155	11.7	11.8	12.7
減価償却費	1,033,246	8.3	8.7	8.0
経費	1,856,092	14.9	22.1	19.0
(うち委託料)	929,543	7.5	11.7	10.0
研究研修費	41,463			
資産減耗費	19,878			
(2) 医業外費用	580,150			
(うち支払利息)	28,509	0.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	7,616			
経常損益	-301,928			
純損益	-292,498			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.9		103.3	103.2
医業収支比率	91.0		85.5	88.6
修正医業収支比率	88.9		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	5.7		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	92.3		91.9	93.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,666,074
1 固定資産	15,528,808
(1) 有形固定資産	14,940,152
(2) 無形固定資産	115,134
(3) 投資その他の資産	473,522
2 流動資産	7,137,266
(1) 現金及び預金	4,787,725
(2) 未収金及び未収収益	2,306,116
(3) 貸倒引当金( )	2,215
(4) 貯蔵品	45,640
3 繰延資産	-
負債合計	11,813,861
1 固定負債	8,481,548
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,840,684
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,603,220
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,037,644
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,734,907
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	858,929
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	458,855
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,395,281
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	597,406
(1) 長期前受金	1,275,649
(2) 長期前受金収益化累計額( )	678,243
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	10,852,213
1 資本金	10,807,271
2 剰余金	44,942
(1) 資本剰余金	18,625
(2) 利益剰余金	26,317
負債・資本合計	22,666,074
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	789,534	789,534
資本勘定繰入	479,525	326,900
計	1,269,059	1,116,434

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	大町市				
病院名	大町総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,380 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	147	83.1	81.7	79.9
療養	48	81.5	90.1	87.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	30.1	16.9	24.5
計	199	81.7	82.4	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	11.7	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	26,029	
決算規模(千円)	17,667,900	
標準財政規模(千円)	10,340,604	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	34.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,532,171			
1 経常収益	5,531,847			
(1) 医業収益	4,582,193			
(うち修正医業収益)	4,456,888			
入院収益	2,527,608			
外来収益	1,406,656			
診療収入計	3,934,264			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	647,929			
(うち他会計負担金)	125,305			
(2) 医業外収益	949,654			
(うち国・都道府県補助金)	346,883			
(うち他会計補助・負担金)	392,573			
(うち長期前受金戻入)	187,252			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	324			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,108,742			
2 経常費用	5,082,241			
(1) 医業費用	4,888,322			
職員給与費	3,051,289	66.6	59.4	67.0
材料費	751,634	16.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	402,401	8.8	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	302,801	6.6	11.8	9.4
減価償却費	291,353	6.4	8.7	10.2
経費	757,999	16.5	22.1	28.8
(うち委託料)	258,661	5.6	11.7	13.2
研究研修費	29,670			
資産減耗費	6,377			
(2) 医業外費用	193,919			
(うち支払利息)	40,475	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	26,501			
損益	449,606			
純損益	423,429			
累積欠損金	849,791			
経常収支比率	108.8		103.3	104.5
医業収支比率	93.7		85.5	80.1
修正医業収支比率	91.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	98.7		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,963,326
1 固定資産	5,181,011
(1) 有形固定資産	4,715,778
(2) 無形固定資産	63,550
(3) 投資その他の資産	401,683
2 流動資産	1,782,315
(1) 現金及び預金	682,745
(2) 未収金及び未収収益	1,070,862
(3) 貸倒引当金( )	2,053
(4) 貯蔵品	30,749
3 繰延資産	-
負債合計	6,512,808
1 固定負債	2,995,933
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,027,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	667,000
(6) 引当金	1,294,105
(7) 一ス債務	7,643
2 流動負債	1,076,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	498,043
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	50,000
(5) 引当金	145,967
(6) リ一ス債務	2,884
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	354,841
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,440,444
(1) 長期前受金	6,411,853
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,971,409
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	450,518
1 資本金	691,217
2 剰余金	-240,699
(1) 資本剰余金	609,092
(2) 利益剰余金	-849,791
負債・資本合計	6,963,326
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	517,674	517,878
資本勘定繰入	299,827	332,122
計	817,501	850,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	佐久市				
病院名	国保浅間総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,948 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	238	74.5	79.1	73.8
療養	40	39.1	56.5	58.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	278	69.4	75.9	71.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	14.9	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	98,199	
決算規模(千円)	57,261,047	
標準財政規模(千円)	28,653,384	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	82.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,930,354			
1 経常収益	7,930,334			
(1) 医業収益	6,691,198			
(うち修正医業収益)	6,397,255			
入院収益	3,825,922			
外来収益	2,058,532			
診療収入計	5,884,454			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	806,744			
(うち他会計負担金)	293,943			
(2) 医業外収益	1,239,136			
(うち国・都道府県補助金)	320,673			
(うち他会計補助・負担金)	434,350			
(うち長期前受金戻入)	306,047			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,204,824			
2 経常費用	8,196,260			
(1) 医業費用	7,855,920			
職員給与費	4,790,763	71.6	59.4	63.7
材料費	1,171,504	17.5	26.1	21.0
(うち薬品費)	312,928	4.7	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	851,503	12.7	11.8	10.1
減価償却費	580,735	8.7	8.7	9.7
経費	1,287,069	19.2	22.1	28.9
(うち委託料)	531,969	8.0	11.7	13.6
研究研修費	15,310			
資産減耗費	10,539			
(2) 医業外費用	340,340			
(うち支払利息)	59,470	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	8,564			
損益	-265,926			
純損益	-274,470			
累積欠損金	1,997,382			
経常収支比率	96.8		103.3	101.8
医業収支比率	85.2		85.5	80.8
修正医業収支比率	81.4		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	9.2		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	87.9		91.9	89.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,346,613
1 固定資産	7,823,174
(1) 有形固定資産	7,796,061
(2) 無形固定資産	2,594
(3) 投資その他の資産	24,519
2 流動資産	1,523,439
(1) 現金及び預金	267,173
(2) 未収金及び未収収益	1,222,783
(3) 貸倒引当金( )	2,597
(4) 貯蔵品	17,641
3 繰延資産	-
負債合計	10,071,450
1 固定負債	7,017,105
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,901,061
(2) その他の企業債	8,677
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,778,340
(7) 一時的借入金	329,027
2 流動負債	1,378,676
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	410,766
(2) その他の企業債	374
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	251,961
(6) リース債務	106,381
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	567,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,675,669
(1) 長期前受金	5,898,465
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,222,796
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-724,837
1 資本金	1,158,104
2 剰余金	-1,882,941
(1) 資本剰余金	114,441
(2) 利益剰余金	-1,997,382
負債・資本合計	9,346,613
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	724,837
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	716,813	728,293
資本勘定繰入	302,727	276,844
計	1,019,540	1,005,137

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	東御市				
病院名	東御市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,858 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	62.1	72.8	66.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	62.1	72.8	66.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	22.7	20.7

設立団体の状況		
人口(人)	30,122	
決算規模(千円)	16,138,955	
標準財政規模(千円)	9,235,803	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	29.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,151,387			
1 経常収益	2,151,387			
(1) 医業収益	1,620,788			
(うち修正医業収益)	1,582,797			
入院収益	509,429			
外来収益	860,207			
診療収入計	1,369,636			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	251,152			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	530,599			
(うち国・都道府県補助金)	294,962			
(うち他会計補助・負担金)	164,095			
(うち長期前受金戻入)	11,918			
(うち資本費繰入収益)	47,040			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,077,757			
2 経常費用	2,077,757			
(1) 医業費用	1,956,010			
職員給与費	1,031,990	63.7	59.4	76.5
材料費	254,016	15.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	116,929	7.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	126,152	7.8	11.8	6.4
減価償却費	152,515	9.4	8.7	11.5
経費	485,394	29.9	22.1	32.6
(うち委託料)	285,232	17.6	11.7	14.8
研究研修費	3,643			
資産減耗費	28,452			
(2) 医業外費用	121,747			
(うち支払利息)	13,822	0.9	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	73,630			
純損益	73,630			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.5		103.3	101.5
医業収支比率	82.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	80.9		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	9.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	93.8		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,975,105
1 固定資産	2,455,127
(1) 有形固定資産	2,454,855
(2) 無形固定資産	272
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	519,978
(1) 現金及び預金	253,145
(2) 未収金及び未収収益	238,025
(3) 貸倒引当金( )	1,000
(4) 貯蔵品	24,018
3 繰延資産	-
負債合計	1,734,923
1 固定負債	1,134,169
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,134,169
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	523,167
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	208,924
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,434
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	258,809
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	77,587
(1) 長期前受金	95,336
(2) 長期前受金収益化累計額( )	17,749
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,240,182
1 資本金	925,743
2 剰余金	314,439
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	314,439
負債・資本合計	2,975,105
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	200,369	202,086
資本勘定繰入	47,040	51,850
計	247,409	253,936

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	佐久穂町				
病院名	佐久穂町立千曲病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,183 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	52	81.4	78.1	66.3
療養	45	81.3	82.0	68.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	81.3	79.9	67.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.8	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	10,218	
決算規模(千円)	9,737,683	
標準財政規模(千円)	5,447,266	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,778,319			
1 経常収益	1,778,293			
(1) 医業収益	1,447,886			
(うち修正医業収益)	1,403,289			
入院収益	784,369			
外来収益	460,670			
診療収入計	1,245,039			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	202,847			
(うち他会計負担金)	44,597			
(2) 医業外収益	330,407			
(うち国・都道府県補助金)	39,485			
(うち他会計補助・負担金)	200,928			
(うち長期前受金戻入)	87,463			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,714,063			
2 経常費用	1,713,998			
(1) 医業費用	1,664,386			
職員給与費	1,055,991	72.9	59.4	76.5
材料費	171,441	11.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	54,652	3.8	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	99,205	6.9	11.8	6.4
減価償却費	179,362	12.4	8.7	11.5
経費	241,030	16.6	22.1	32.6
(うち委託料)	116,883	8.1	11.7	14.8
研究研修費	3,830			
資産減耗費	12,732			
(2) 医業外費用	49,612			
(うち支払利息)	4,678	0.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	65			
経常損益	64,295			
純損益	64,256			
累積欠損金	368,103			
経常収支比率	103.8		103.3	101.5
医業収支比率	87.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	84.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.0		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	13.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	89.4		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,034,589
1 固定資産	1,681,062
(1) 有形固定資産	1,565,684
(2) 無形固定資産	55,622
(3) 投資その他の資産	59,756
2 流動資産	353,527
(1) 現金及び預金	115,060
(2) 未収金及び未収収益	230,776
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	7,691
3 繰延資産	-
負債合計	1,764,398
1 固定負債	1,278,978
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	883,541
(2) その他の企業債	92,994
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	300,590
(7) 一ス債務	1,853
2 流動負債	331,418
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	184,993
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,342
(6) リ一ス債務	695
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	76,214
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	154,002
(1) 長期前受金	805,595
(2) 長期前受金収益化累計額( )	651,593
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	270,191
1 資本金	638,185
2 剰余金	-367,994
(1) 資本剰余金	109
(2) 利益剰余金	-368,103
負債・資本合計	2,034,589
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	245,525	245,525
資本勘定繰入	80,093	80,093
計	325,618	325,618

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	軽井沢町				
病院名	国保軽井沢病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,442 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	79	63.4	68.9	63.0
療養	24	73.8	60.8	61.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	103	65.8	67.0	62.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	20.4	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	19,188	
決算規模(千円)	17,036,858	
標準財政規模(千円)	9,802,873	
財政力指数	1.50	
経常収支比率(%)	70.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,973,373			
1 経常収益	2,938,716			
(1) 医業収益	1,941,927			
(うち修正医業収益)	1,776,927			
入院収益	918,228			
外来収益	742,231			
診療収入計	1,660,459			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	281,468			
(うち他会計負担金)	165,000			
(2) 医業外収益	996,789			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	735,000			
(うち長期前受金戻入)	62,916			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	34,657			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,580,652			
2 経常費用	2,568,960			
(1) 医業費用	2,455,620			
職員給与費	1,469,220	75.7	59.4	67.0
材料費	329,577	17.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	110,947	5.7	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	193,174	9.9	11.8	9.4
減価償却費	128,089	6.6	8.7	10.2
経費	517,008	26.6	22.1	28.8
(うち委託料)	279,601	14.4	11.7	13.2
研究研修費	11,551			
資産減耗費	175			
(2) 医業外費用	113,340			
(うち支払利息)	26,955	1.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	11,692			
損益	369,756			
純損益	392,721			
累積欠損金	408,219			
経常収支比率	114.4		103.3	104.5
医業収支比率	79.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	72.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	30.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	46.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	30.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	79.4		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,025,581
1 固定資産	2,478,494
(1) 有形固定資産	2,478,494
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	547,087
(1) 現金及び預金	220,427
(2) 未収金及び未収収益	306,381
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	20,279
3 繰延資産	-
負債合計	2,399,929
1 固定負債	1,174,241
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,099,235
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	75,006
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	352,030
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,198
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	78,664
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	119,168
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	873,658
(1) 長期前受金	1,878,415
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,004,757
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	625,652
1 資本金	525,142
2 剰余金	100,510
(1) 資本剰余金	505,429
(2) 利益剰余金	-404,919
負債・資本合計	3,025,581
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	636,012	900,000
資本勘定繰入	133,226	86,822
計	769,238	986,822

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	16,306	1.0
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	辰野町				
病院名	辰野病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,882 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	100	80.6	79.8	78.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	80.6	79.8	78.7
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	18.0	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	18,555	
決算規模(千円)	10,173,528	
標準財政規模(千円)	6,033,687	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	82.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,394,003			
1 経常収益	2,394,003			
(1) 医業収益	1,948,692			
(うち修正医業収益)	1,864,439			
入院収益	949,502			
外来収益	811,075			
診療収入計	1,760,577			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	188,115			
(うち他会計負担金)	84,253			
(2) 医業外収益	445,311			
(うち国・都道府県補助金)	46,670			
(うち他会計補助・負担金)	274,943			
(うち長期前受金戻入)	15,915			
(うち資本費繰入収益)	40,804			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,336,296			
2 経常費用	2,336,296			
(1) 医業費用	2,248,386			
職員給与費	1,245,334	63.9	59.4	67.0
材料費	301,077	15.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	156,340	8.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	120,127	6.2	11.8	9.4
減価償却費	150,320	7.7	8.7	10.2
経費	540,594	27.7	22.1	28.8
(うち委託料)	311,616	16.0	11.7	13.2
研究研修費	2,144			
資産減耗費	8,917			
(2) 医業外費用	87,910			
(うち支払利息)	691	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	57,707			
純損益	57,707			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		103.3	104.5
医業収支比率	86.7		85.5	80.1
修正医業収支比率	82.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	18.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	87.1		91.9	88.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,927,519
1 固定資産	2,470,977
(1) 有形固定資産	2,422,022
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	48,955
2 流動資産	456,542
(1) 現金及び預金	190,666
(2) 未収金及び未収収益	248,384
(3) 貸倒引当金( )	426
(4) 貯蔵品	17,458
3 繰延資産	-
負債合計	2,255,629
1 固定負債	1,447,635
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,365,535
(2) その他の企業債	78,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,100
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	280,124
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	92,040
(2) その他の企業債	26,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	83,676
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	77,677
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	527,870
(1) 長期前受金	896,146
(2) 長期前受金収益化累計額( )	368,276
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	671,890
1 資本金	587,878
2 剰余金	84,012
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	84,012
負債・資本合計	2,927,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	397,280	359,196
資本勘定繰入	40,804	40,804
計	438,084	400,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	信濃町				
病院名	信越病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,064 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	47	47.2	50.1	53.4
療養	50	59.3	65.5	74.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	53.5	58.0	64.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	16.0	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	7,739	
決算規模(千円)	6,184,585	
標準財政規模(千円)	4,072,502	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	86.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,373,222			
1 経常収益	1,373,222			
(1) 医業収益	1,020,054			
(うち修正医業収益)	949,225			
入院収益	493,501			
外来収益	388,913			
診療収入計	882,414			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	137,640			
(うち他会計負担金)	70,829			
(2) 医業外収益	353,168			
(うち国・都道府県補助金)	29,176			
(うち他会計補助・負担金)	274,827			
(うち長期前受金戻入)	39,000			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,376,761			
2 経常費用	1,361,714			
(1) 医業費用	1,324,154			
職員給与費	800,972	78.5	59.4	76.5
材料費	113,580	11.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	37,120	3.6	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	60,705	6.0	11.8	6.4
減価償却費	46,786	4.6	8.7	11.5
経費	360,428	35.3	22.1	32.6
(うち委託料)	145,124	14.2	11.7	14.8
研究研修費	1,852			
資産減耗費	536			
(2) 医業外費用	37,560			
(うち支払利息)	3,078	0.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	15,047			
経常損益	11,508			
純損益	-3,539			
累積欠損金	1,162,380			
経常収支比率	100.8		103.3	101.5
医業収支比率	77.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	71.7		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.2		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	33.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	25.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	75.5		91.9	78.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,146,186
1 固定資産	784,511
(1) 有形固定資産	784,365
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	361,675
(1) 現金及び預金	195,065
(2) 未収金及び未収収益	163,233
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,377
3 繰延資産	-
負債合計	1,002,901
1 固定負債	691,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	319,362
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	364,457
(7) 一ス債務	7,990
2 流動負債	147,022
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,051
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	59,630
(6) リ一ス債務	4,167
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,024
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	164,070
(1) 長期前受金	577,762
(2) 長期前受金収益化累計額( )	413,692
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	143,285
1 資本金	1,271,914
2 剰余金	-1,128,629
(1) 資本金剰余金	33,751
(2) 利益剰余金	-1,162,380
負債・資本合計	1,146,186
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	345,656	345,656
資本勘定繰入	23,486	39,335
計	369,142	384,991

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	114.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	飯綱町				
病院名	飯綱町立飯綱病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,246 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	110	56.4	78.7	88.0
療養	51	67.1	20.0	26.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	59.8	60.1	68.6
平均在院日数(一般病床のみ)		22.3	18.6	21.7

設立団体の状況		
人口(人)	10,296	
決算規模(千円)	8,335,681	
標準財政規模(千円)	4,851,483	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,270,504			
1 経常収益	2,270,504			
(1) 医業収益	1,762,906			
(うち修正医業収益)	1,638,518			
入院収益	914,677			
外来収益	632,985			
診療収入計	1,547,662			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	215,244			
(うち他会計負担金)	124,388			
(2) 医業外収益	507,598			
(うち国・都道府県補助金)	148,860			
(うち他会計補助・負担金)	225,336			
(うち長期前受金戻入)	120,839			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,232,354			
2 経常費用	2,232,354			
(1) 医業費用	2,125,929			
職員給与費	1,026,864	58.2	59.4	67.0
材料費	238,316	13.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	77,514	4.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	137,544	7.8	11.8	9.4
減価償却費	138,408	7.9	8.7	10.2
経費	719,255	40.8	22.1	28.8
(うち委託料)	277,333	15.7	11.7	13.2
研究研修費	2,750			
資産減耗費	336			
(2) 医業外費用	106,425			
(うち支払利息)	25,383	1.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	38,150			
純損益	38,150			
累積欠損金	371,969			
経常収支比率	101.7		103.3	104.5
医業収支比率	82.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	77.1		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	86.0		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,155,470
1 固定資産	1,753,173
(1) 有形固定資産	1,736,144
(2) 無形固定資産	399
(3) 投資その他の資産	16,630
2 流動資産	402,297
(1) 現金及び預金	84,634
(2) 未収金及び未収収益	281,078
(3) 貸倒引当金( )	667
(4) 貯蔵品	36,125
3 繰延資産	-
負債合計	2,486,483
1 固定負債	1,605,283
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,307,915
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	297,368
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	467,357
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	214,709
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,075
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	178,738
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	413,843
(1) 長期前受金	2,281,365
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,867,522
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-331,013
1 資本金	14,932
2 剰余金	-345,945
(1) 資本剰余金	26,024
(2) 利益剰余金	-371,969
負債・資本合計	2,155,470
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	331,013
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,666	349,724
資本勘定繰入	147,040	150,040
計	386,706	499,764

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		長野県	
市町村・組合名	伊那中央行政組合(事業会計分)		
病院名	伊那中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	39,114 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	390	78.4	71.5	64.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	22.9	48.1	26.3
計	394	77.8	71.2	64.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	12.5	11.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,800,068			
1 経常収益	14,796,128			
(1) 医業収益	13,021,180			
(うち修正医業収益)	12,668,453			
入院収益	8,271,917			
外来収益	3,748,848			
診療収入計	12,020,765			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,000,415			
(うち他会計負担金)	352,727			
(2) 医業外収益	1,774,948			
(うち国・都道府県補助金)	1,240,360			
(うち他会計補助・負担金)	422,709			
(うち長期前受金戻入)	46,354			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,940			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,976,584			
2 経常費用	14,736,510			
(1) 医業費用	14,057,503			
職員給与費	7,625,077	58.6	59.4	59.0
材料費	3,405,812	26.2	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,831,582	14.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,496,922	11.5	11.8	11.2
減価償却費	1,004,799	7.7	8.7	8.6
経費	1,955,866	15.0	22.1	21.3
(うち委託料)	1,041,237	8.0	11.7	11.6
研究研修費	37,452			
資産減耗費	28,497			
(2) 医業外費用	679,007			
(うち支払利息)	26,497	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	240,074			
損益	59,618			
純損益	-176,516			
累積欠損金	3,769,097			
経常収支比率	100.4		103.3	104.8
医業収支比率	92.6		85.5	87.0
修正医業収支比率	90.1		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.0		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	5.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	95.1		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,811,966
1 固定資産	16,958,901
(1) 有形固定資産	15,159,660
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,799,241
2 流動資産	6,853,065
(1) 現金及び預金	4,240,628
(2) 未収金及び未収収益	2,556,340
(3) 貸倒引当金( )	1,159
(4) 貯蔵品	57,256
3 繰延資産	-
負債合計	12,220,120
1 固定負債	8,648,601
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,135,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,513,243
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,982,884
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,178,289
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	474,792
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,248,308
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	588,635
(1) 長期前受金	1,163,857
(2) 長期前受金収益化累計額( )	575,222
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	11,591,846
1 資本金	15,360,943
2 剰余金	-3,769,097
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,769,097
負債・資本合計	23,811,966
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,130,213	775,436
資本勘定繰入	855,155	855,155
計	1,985,368	1,630,591

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたもの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	伊南行政組合				
病院名	昭和伊南総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,682 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	300	59.4	60.1	57.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	59.4	60.1	57.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.4	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	227,953	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	105.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,877,621			
1 経常収益	7,877,621			
(1) 医業収益	6,650,480			
(うち修正医業収益)	6,475,206			
入院収益	3,794,401			
外来収益	2,223,139			
診療収入計	6,017,540			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	632,940			
(うち他会計負担金)	175,274			
(2) 医業外収益	1,227,141			
(うち国・都道府県補助金)	640,213			
(うち他会計補助・負担金)	355,363			
(うち長期前受金戻入)	210,779			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,157,375			
2 経常費用	7,157,375			
(1) 医業費用	7,123,069			
職員給与費	3,564,816	53.6	59.4	59.0
材料費	1,985,246	29.9	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,267,513	19.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	672,229	10.1	11.8	11.2
減価償却費	374,747	5.6	8.7	8.6
経費	1,180,944	17.8	22.1	21.3
(うち委託料)	589,883	8.9	11.7	11.6
研究研修費	10,945			
資産減耗費	6,371			
(2) 医業外費用	34,306			
(うち支払利息)	3,418	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	720,246			
純損益	720,246			
累積欠損金	-			
経常収支比率	110.1		103.3	104.8
医業収支比率	93.4		85.5	87.0
修正医業収支比率	90.9		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	6.7		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	102.6		91.9	95.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,429,828
1 固定資産	2,592,154
(1) 有形固定資産	2,574,187
(2) 無形固定資産	1,487
(3) 投資その他の資産	16,480
2 流動資産	5,837,674
(1) 現金及び預金	4,568,019
(2) 未収金及び未収収益	1,210,863
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	58,792
3 繰延資産	-
負債合計	4,378,365
1 固定負債	2,587,067
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	769,651
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,817,416
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,313,687
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	321,411
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	206,587
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	754,664
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	477,611
(1) 長期前受金	4,292,789
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,815,178
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,051,463
1 資本金	35,118
2 剰余金	4,016,345
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	4,016,345
負債・資本合計	8,429,828
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	530,637	530,637
資本勘定繰入	187,549	187,549
計	718,186	718,186

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	諏訪中央病院組合				
病院名	組合立諏訪中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,414 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	324	80.3	85.9	83.5
療養	36	82.6	95.2	90.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	80.5	86.9	84.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.7	13.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,196,538			
1 経常収益	11,196,538			
(1) 医業収益	9,344,888			
(うち修正医業収益)	9,304,633			
入院収益	5,593,808			
外来収益	3,208,950			
診療収入計	8,802,758			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	542,130			
(うち他会計負担金)	40,255			
(2) 医業外収益	1,851,650			
(うち国・都道府県補助金)	848,137			
(うち他会計補助・負担金)	324,468			
(うち長期前受金戻入)	171,416			
(うち資本費繰入収益)	316,291			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,594,617			
2 経常費用	10,565,097			
(1) 医業費用	10,058,164			
職員給与費	5,789,473	62.0	59.4	59.0
材料費	2,160,779	23.1	26.1	25.6
(うち薬品費)	946,020	10.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,134,172	12.1	11.8	11.2
減価償却費	693,451	7.4	8.7	8.6
経費	1,381,780	14.8	22.1	21.3
(うち委託料)	685,478	7.3	11.7	11.6
研究研修費	27,819			
資産減耗費	4,862			
(2) 医業外費用	506,933			
(うち支払利息)	40,347	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	29,520			
損益	631,441			
純損益	601,921			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.0		103.3	104.8
医業収支比率	92.9		85.5	87.0
修正医業収支比率	92.5		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	3.3		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	3.9		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	3.3		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	102.5		91.9	95.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,432,107
1 固定資産	10,845,675
(1) 有形固定資産	10,671,059
(2) 無形固定資産	1,900
(3) 投資その他の資産	172,716
2 流動資産	3,586,432
(1) 現金及び預金	1,618,817
(2) 未収金及び未収収益	1,918,698
(3) 貸倒引当金( )	23,997
(4) 貯蔵品	72,914
3 繰延資産	-
負債合計	10,812,517
1 固定負債	8,781,894
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,720,783
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,056,653
(7) 一ス債務	4,458
2 流動負債	1,260,937
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	604,660
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	250,682
(6) リ一ス債務	4,458
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	357,099
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	769,686
(1) 長期前受金	1,457,551
(2) 長期前受金収益化累計額( )	687,865
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,619,590
1 本金	3,262,684
2 剰余金	356,906
(1) 資本剰余金	104,774
(2) 利益剰余金	252,132
負債・資本合計	14,432,107
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	631,377	364,723
資本勘定繰入	321,254	316,291
計	952,631	681,014

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	依田窪医療福祉事務組合				
病院名	国保依田窪病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,027 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	140	62.3	62.8	64.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	62.3	62.8	64.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	17.1	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	32,230	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	98.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,645,060			
1 経常収益	3,645,060			
(1) 医業収益	2,519,483			
(うち修正医業収益)	2,430,219			
入院収益	1,688,006			
外来収益	580,453			
診療収入計	2,268,459			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	251,024			
(うち他会計負担金)	89,264			
(2) 医業外収益	1,125,577			
(うち国・都道府県補助金)	678,820			
(うち他会計補助・負担金)	370,338			
(うち長期前受金戻入)	51,357			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,315,398			
2 経常費用	3,284,327			
(1) 医業費用	3,118,864			
職員給与費	1,603,608	63.6	59.4	67.0
材料費	391,019	15.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	178,130	7.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	211,387	8.4	11.8	9.4
減価償却費	237,258	9.4	8.7	10.2
経費	883,676	35.1	22.1	28.8
(うち委託料)	308,702	12.3	11.7	13.2
研究研修費	3,303			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	165,463			
(うち支払利息)	25,914	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	31,071			
損益	360,733			
純損益	329,662			
累積欠損金	1,547,485			
経常収支比率	111.0		103.3	104.5
医業収支比率	80.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	77.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	18.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	97.0		91.9	88.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,052,526
1 固定資産	3,581,609
(1) 有形固定資産	3,422,452
(2) 無形固定資産	390
(3) 投資その他の資産	158,767
2 流動資産	1,470,917
(1) 現金及び預金	725,004
(2) 未収金及び未収収益	715,523
(3) 貸倒引当金( )	88
(4) 貯蔵品	32,789
3 繰延資産	-
負債合計	2,905,604
1 固定負債	2,265,828
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,944,136
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	65,575
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	639,776
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	309,766
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	105,204
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	220,958
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,146,922
1 資本金	88,558
2 剰余金	2,058,364
(1) 資本剰余金	3,605,849
(2) 利益剰余金	-1,547,485
負債・資本合計	5,052,526
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	360,249	459,602
資本勘定繰入	146,407	146,407
計	506,656	606,009

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。